

公益財団法人 原総合知的通信システム基金
第 59 回国際会議論文発表助成候補者 (2020 年度第 II 期)
募集要綱

2020 年 10 月 1 日

1. 助成の趣旨

公益財団法人原総合知的通信システム基金は、知的処理と情報通信が高度に融合した総合知的通信システム技術を実現する為、情報通信における AI 技術、マルチメディア通信技術、ネットワーク技術、生体情報伝達システム技術及びそれらの関連技術等に関する研究者に対する助成等の支援を行うことにより、世界の情報通信技術の発展に寄与することを目的としています。

2. 対象分野

- (1) 情報通信関連人工知能 (A I) 技術
- (2) マルチメディア通信技術
- (3) 生体情報伝達システム技術 (ライフサイエンス)
- (4) バイオとコンピュータサイエンスの共有領域
- (5) ロボット関連情報システム技術 (ロボティクス)
- (6) データサイエンス技術
- (7) コンピュータネットワーク技術

等に関連する論文発表

3. 助成対象者

国内の大学並びに国公立 (またはこれに準ずる) 研究所に在籍する研究者で、上記分野の研究論文を海外で開催される国際会議で発表を希望する者。(日本在籍 2 年以上であれば国籍を問わない)

4. 募集期間

<2020.第 II 期(59 回)> 10 月 1 日～10 月 31 日 (11 月 1 日～令和 3 年 2 月末日内の開催学会を対象)

5. 助成金

1 件 25 万円未満

6. 助成金の使途

原則として、渡航費、滞在費等に使用して下さい。

7. 申込方法

・別紙申込用紙に記載の上、写真を添付して提出して下さい。

申請中の論文の表紙及び学会または国際会議の論文採録通知 (Letter of Acceptance) のコピー及び学会・国際会議の案内資料を添付して下さい。外国人の方は **First Name, Family Name** を分かるように記載して下さい。

・論文採録通知がメールの場合、参加学会のホームページ等をつけてください。

・E-Mail アドレスは判読出来るようにはっきりと記入下さい、審査結果が届かない場合が有りますので。

・同一研究室からの申請は一名に限ります。

8. 選考方法

選考は、当財団の中立的立場の委員で構成する選考委員会で審議し、理事会（代表理事が代行する場合もある）が審議結果を尊重した上で決定することとします。

《 選考委員 》

森永 規彦	大阪大学名誉教授、広島国際大学名誉教授・元学長
佐々木浩二	アドイン研究所 社長、中部大学 客員教授
柳島 智	総務省国際戦略局技術政策課課長
王 健平	北京大学 教授

9. 助成の決定と贈呈

助成の決定は、前期は7月中旬

但し、諸般の事情により遅れることがありますので御了承下さい。

（原則、銀行振り込みとします）

10. 助成金受領者の報告義務

- (1) 助成金受領者には、帰国後、発表結果報告書及び会計等について提出していただきます。（報告書はA4サイズ・2～3枚程度に簡潔に記載、発表時の写真を添付）
- (2) 後日、研究結果等につき、当財団主催のセミナー等において発表していただくことがあります。
- (3) 国際会議に出席したことを証明する書類
（例：航空券及び搭乗券のコピー、発表時の写真等）
- (4) 助成金受領後、必ず速やかに領収証をお送り下さい。（特に規定様式なし）
以上の義務に違反した場合、助成を取り消す場合がありますので、御注意下さい。
- (5) 助成金の送金を行う場合、
振込手数料は貴殿負担になりますのでご了承下さい。

11. 申込書提出先及び連絡先

公益財団法人 原総合知的通信システム基金 事務局
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町11-19
Phone・Fax 06-6765-5593
E-mail ; k-tanaka@hara-rf.jp
[http:// WWW.hara-rf.jp](http://WWW.hara-rf.jp)